

2025年度 第3四半期

決算資料

Consolidated Financial Results

2026年2月5日

株式会社 **TBS**ホールディングス

目次

2025年度 第3四半期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

成長戦略の進捗

その他トピックス

参考資料

本資料に記載されている将来の当社業績に関する見通しほか全ての内容は、本資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経済情勢、市場動向、経営環境などの変化により、記載事項と異なる可能性があることに十分ご留意下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

◇お問い合わせ先

〒107-8006

東京都港区赤坂5丁目3番6号 Tel : 03-3746-1111 (代表)
株式会社TBSホールディングス 総務局コーポレート業務推進部IR室
HP : <https://www.tbsholdings.co.jp/ir/>

▶ 2025年度 第3四半期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

成長戦略の進捗

その他トピックス

参考資料

2025年度 第3四半期決算

- 連結全体では、增收増益。第3四半期の連結売上高としては、過去最高を更新。
- メディア・コンテンツ事業は、放送収入の增收、配信広告収入の伸長などにより、增收増益。
- ライフスタイル事業は、売上高は、やる気スイッチグループでの生徒数の拡大に加え、スタイリングライフグループのPLAZAやBCLが好調だったものの、2024年度第1四半期末にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響や、費用が増加したことなどにより、增收減益。
- 不動産・その他事業は、売上高は前年並み。また、費用の増加により、減益。

2025年度 業績見通し

- 連結業績予想は、メディア・コンテンツ事業の売上高と営業利益を上方修正した一方、ライフスタイル事業の売上高と営業利益を下方修正。連結全体では、修正なし。
- TBSテレビ業績予想は、売上高および各利益を、上方修正。また、タイム、スポットの予想を変更。

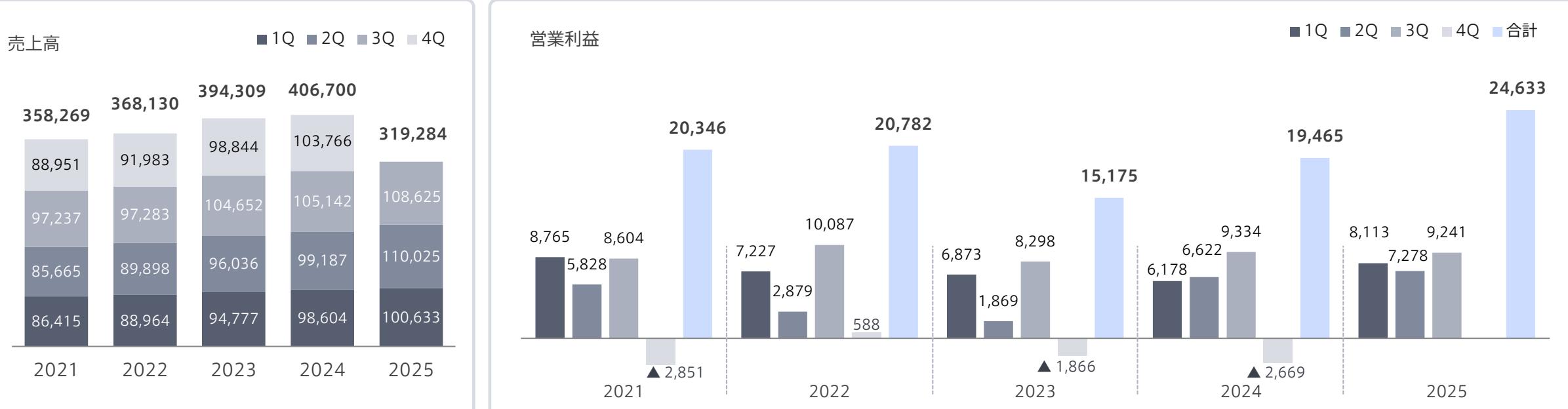
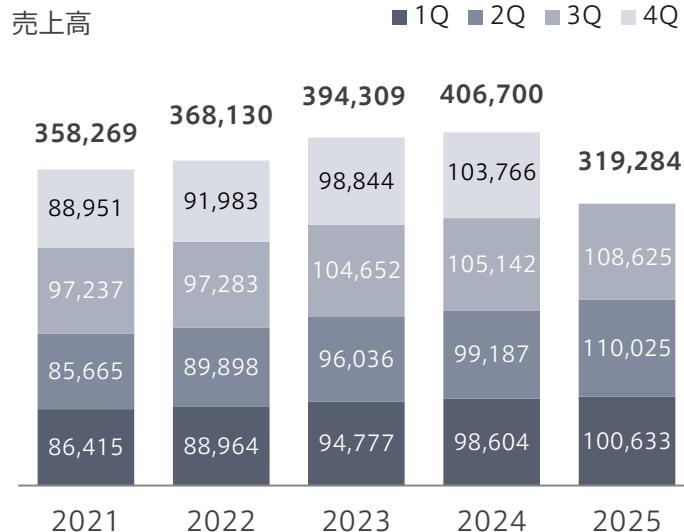
成長戦略の進捗

- Legendary Entertainmentの1億5,000万ドル相当の持分を取得し、戦略的パートナーシップを締結（1月16日）。
- スタイリングライフ・ホールディングス株式の100%取得（完全子会社化）（3月27日予定）。

連結損益計算書

TBS

連結	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	単位: 百万円
売上高	302,934	319,284	+16,349	+5.4%	
営業利益	22,135	24,633	+2,498	+11.3%	
経常利益	34,152	38,523	+4,370	+12.8%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	43,740	55,711	+11,970	+27.4%	



連結セグメント別 実績

TBS

	外部売上				営業利益				単位: 百万円
	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	
メディア・ コンテンツ	220,191	235,212	+15,020	+6.8%	12,677	16,463	+3,785	+29.9%	
ライフスタイル	70,011	71,391	+1,380	+2.0%	3,314	2,325	▲988	▲29.8%	
不動産・その他	12,731	12,679	▲51	▲0.4%	6,142	5,844	▲297	▲4.8%	
調整額	-	-	-	-	0	▲0	▲1	-	
連結	302,934	319,284	+16,349	+5.4%	22,135	24,633	+2,498	+11.3%	

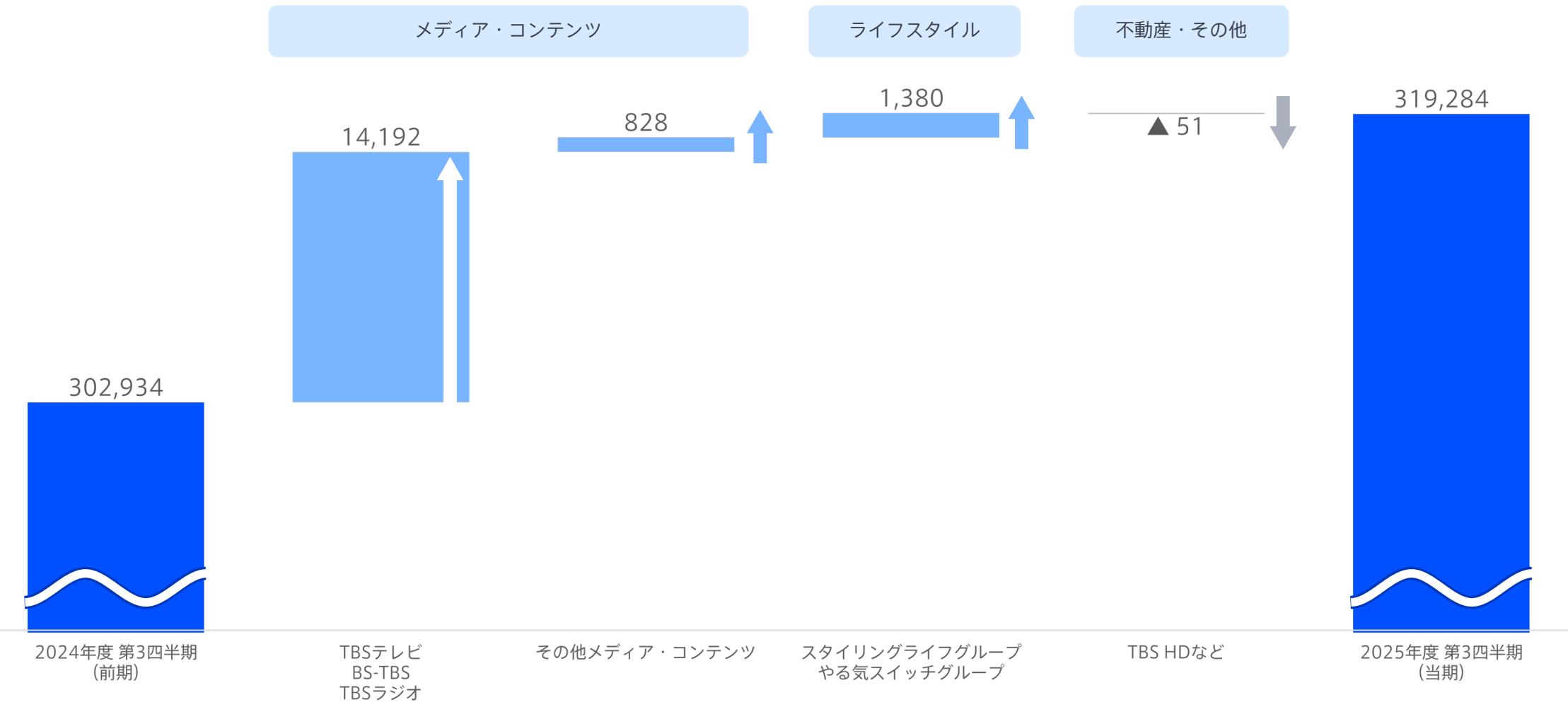
主な増減要因	外部売上	営業利益	単位: 百万円
メディア・コンテンツ	TBSテレビ+14,348、WACUL+872 TBSスパークル▲493、TBSグロウディア▲377	TBSテレビ+5,718 TBSグロウディア▲641	
ライフスタイル	やる気スイッチグループ+1,688 スタイリングライフグループ▲307	やる気スイッチグループ+126 やる気スイッチグループその他基準組替等▲554 スタイリングライフグループ▲577	
不動産・その他			

連結セグメント別 売上高（外部売上）の増減要因

TBS

■ 売上実績 ■ 増加分 ■ 減少分

単位：百万円



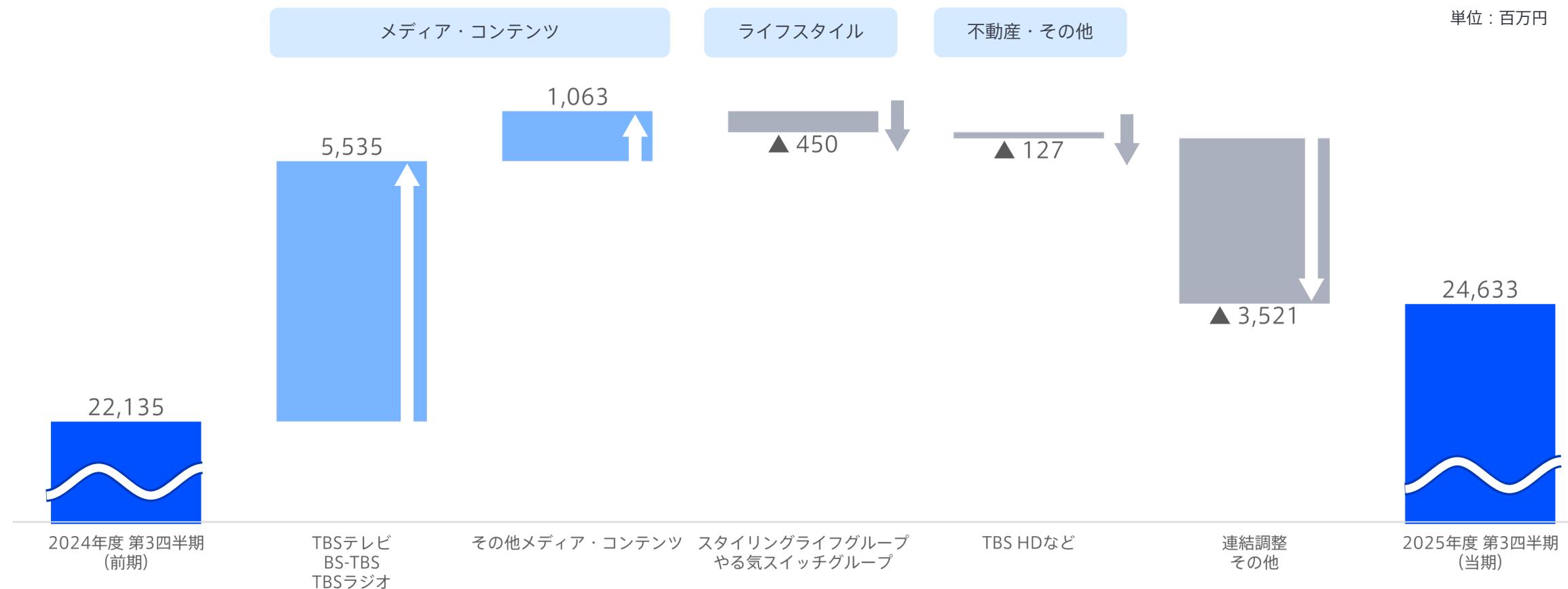
連結セグメント別 営業利益の増減要因

TBS

連結全体で、増益。

- ・ メディア・コンテンツ事業 → 放送収入や配信広告収入の増収などにより、増益。
- ・ ライフスタイル事業 → スタイリングライフグループでライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響に加え、販管費が増加したことなどにより、減益。
- ・ 不動産・その他事業 → 連結調整その他に含まれている全社費用の増加などにより、減益。

■ 営業利益 ■ 増加分 ■ 減少分

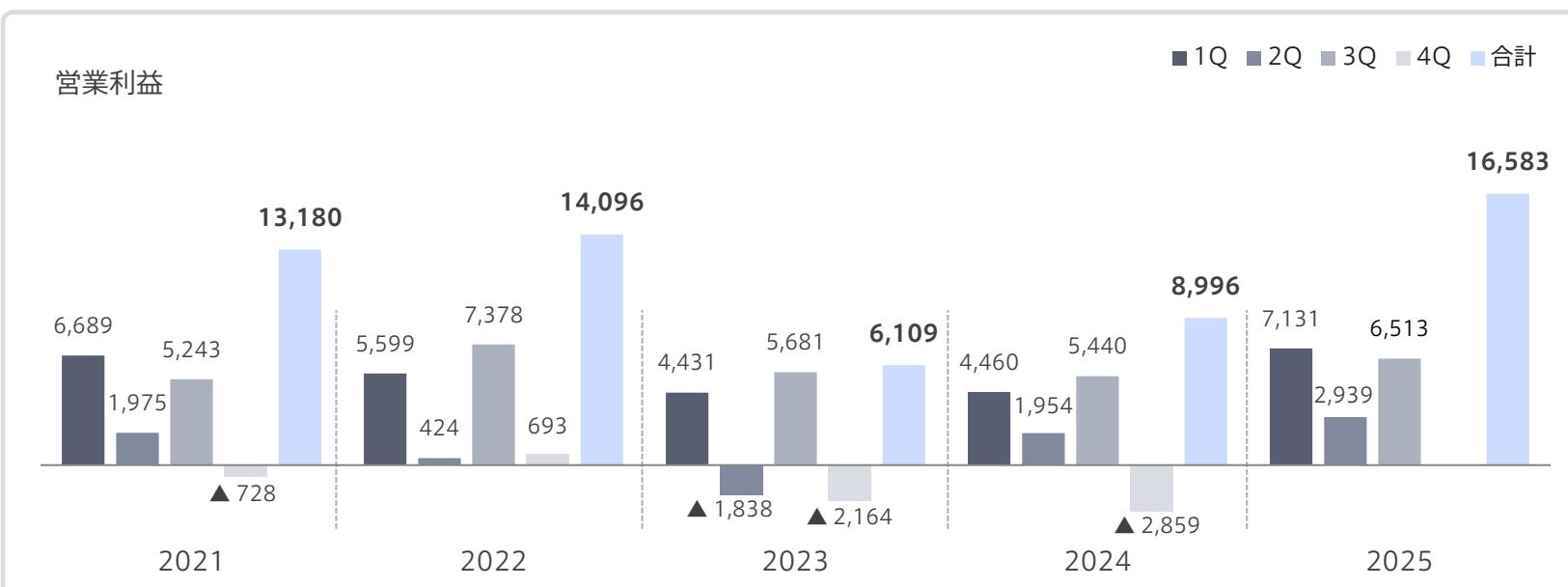


TBSテレビ	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率
売上高	171,654	186,174	+14,519	+8.5%
営業利益	11,855	16,583	+4,728	+39.9%
経常利益	14,310	18,616	+4,306	+30.1%
四半期純利益	27,356	40,115	+12,758	+46.6%

単位:
百万円

営業費用など

- ・ 番組原価 +1,164
- ・ 代理店手数料 +2,932(当期 24,749)
- ・ ネットワーク費 +941
- ・ 事業部門営業費用 +1,503
- ・ 特別利益 (投資有価証券売却益) 当期 43,774
- ・ 特別損失 (固定資産撤去費など) 当期 964

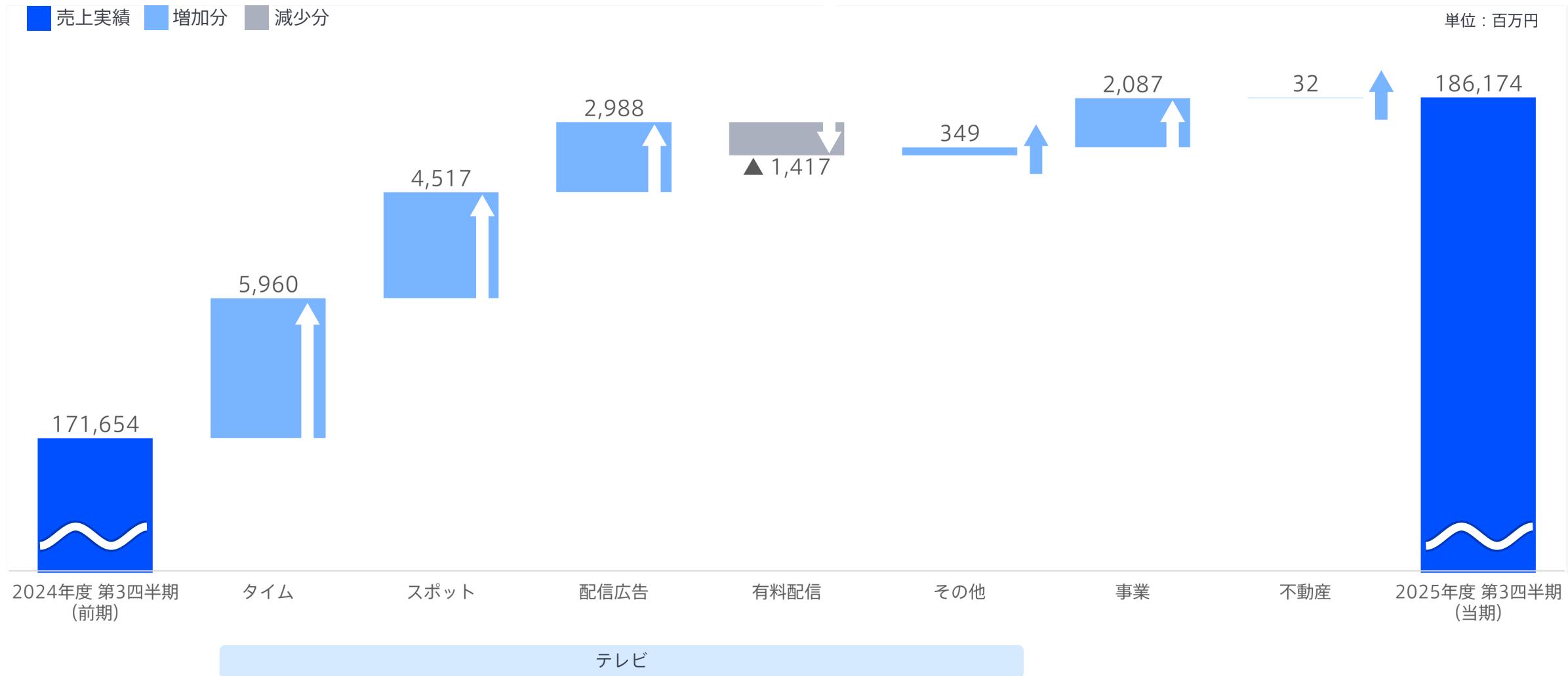


	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
テレビ	170,411	+12,398	
タイム	67,680	+5,960	
スポット	65,135	+4,517	
配信広告	10,850	+2,988	
有料配信	7,445	▲1,417	
その他	19,299	+349	
事業	13,966	+2,087	
不動産	1,796	+32	
収入合計	186,174	+14,519	



TBSテレビ 売上高の増減要因

TBS



テレビ番組原価（制作費）

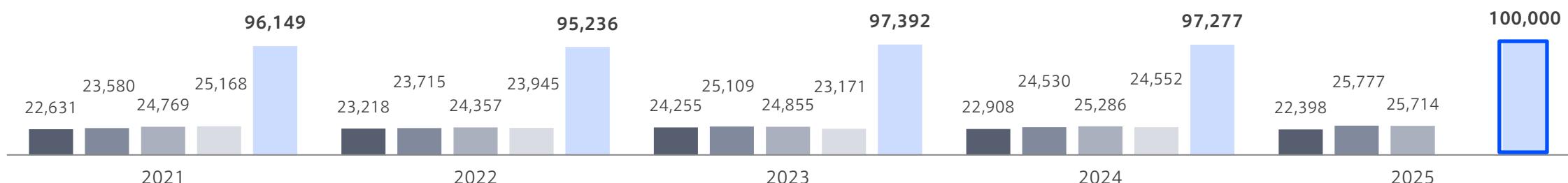
TBS

	2024年度	2025年度	前年差
第1四半期	22,908	22,398	▲509
第2四半期	24,530	25,777	+1,246
第3四半期	25,286	25,714	+427
第4四半期	24,552	-	-
通期累計	97,277	100,000	+2,722

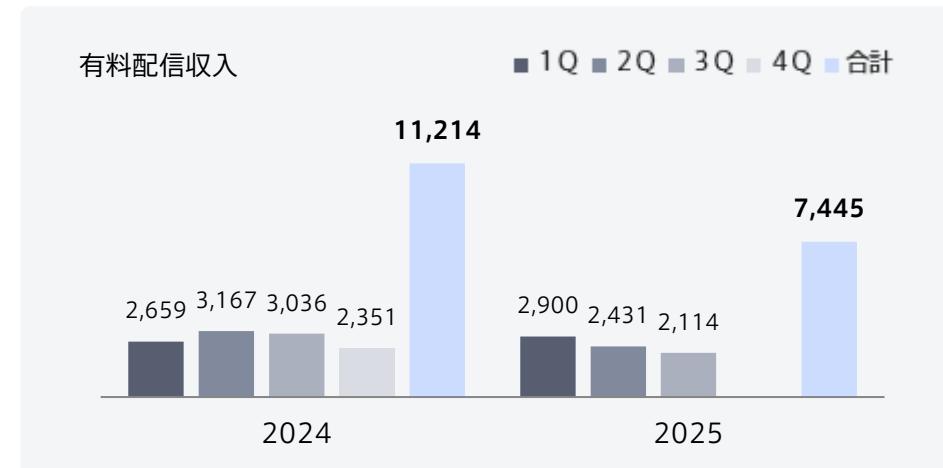
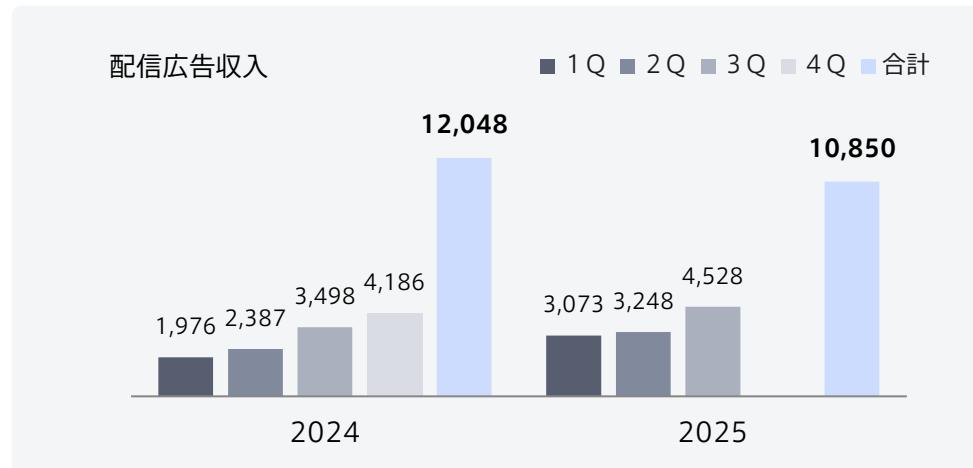
単位:
百万円

※ 青線内の通期累計は、見込みです。

■1Q ■2Q ■3Q ■4Q ■合計



	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	増減率	主な増減要因	単位: 百万円
配信広告収入	7,861	10,850	+2,988	+38.0%	ドラマ・バラエティを中心として、好調な再生回数を背景に、増収。	
有料配信収入	8,863	7,445	▲1,417	▲16.0%	海外配信の作品数の差などにより、減収。 U-NEXTは好調に推移。	



単位：百万円

部門	売上高			粗利益			主な増減要因
	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	
アニメ	1,222	2,648	+1,426	137	▲223	▲360	「たべっ子どうぶつ THE MOVIE」の公開や、海外配信の好調などにより増収も、新作アニメの制作費増加などで、減益。
映画	2,384	3,952	+1,567	751	1,545	+794	「TOKYO MER~走る緊急救命室~南海ミッション」の大ヒットや、「ラストマイル」の二次利用収入などにより、増収増益。
ライブエンタテインメント	6,144	4,859	▲1,284	116	307	+191	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」の公演収入の減少に加え、前年とのイベント数の差などにより、減収。 粗利益は、費用の減少により、増益。
コンテンツビジネス	668	563	▲104	568	465	▲102	DVD販売の減少などにより、減収減益。
グローバルビジネス	1,459	1,942	+482	692	735	+43	2024年7月より海外番販が、2025年7月よりIP関連の一部が移管された影響に加え、ドラマの海外配信セールスが牽引し、増収増益。
その他営業費用				▲1,196	▲1,178	+18	
部門計	11,878	13,966	+2,087	1,069	1,652	+583	事業部門全体では、増収増益。

メディア・コンテンツセグメントの主要なグループ会社状況

TBS

単位：百万円

	売上高			営業利益			主な増減要因
	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	
TBSラジオ	6,148	6,055	▲93	143	129	▲14	放送収入が減少したことなどにより、減収減益。
BS-TBS	12,743	12,666	▲77	2,633	2,465	▲168	ショッピングが伸長したものの、スポット収入が減少し、減収減益。
TBSグロウディア	22,982	22,271	▲711	1,032	390	▲641	ショッピング収入、DVD収入の減少などにより、減収減益。
日音	6,766	7,184	+418	636	740	+103	邦楽収入が増加したことでの増収増益。
TCエンタテインメント	4,606	4,294	▲311	207	▲146	▲353	DVD販売の減少により、減収減益。

スタイリングライフグループ

TBS

PLAZAは、ヘアケア関連、キャラクター商材の好調により、増収。

BCLは、「乾燥さん」が大幅に伸長し、増収。

グループ全体では、2024年度第1四半期末にライトアップショッピングクラブが連結範囲から外れた影響や、販管費の増加などにより、減収減益。

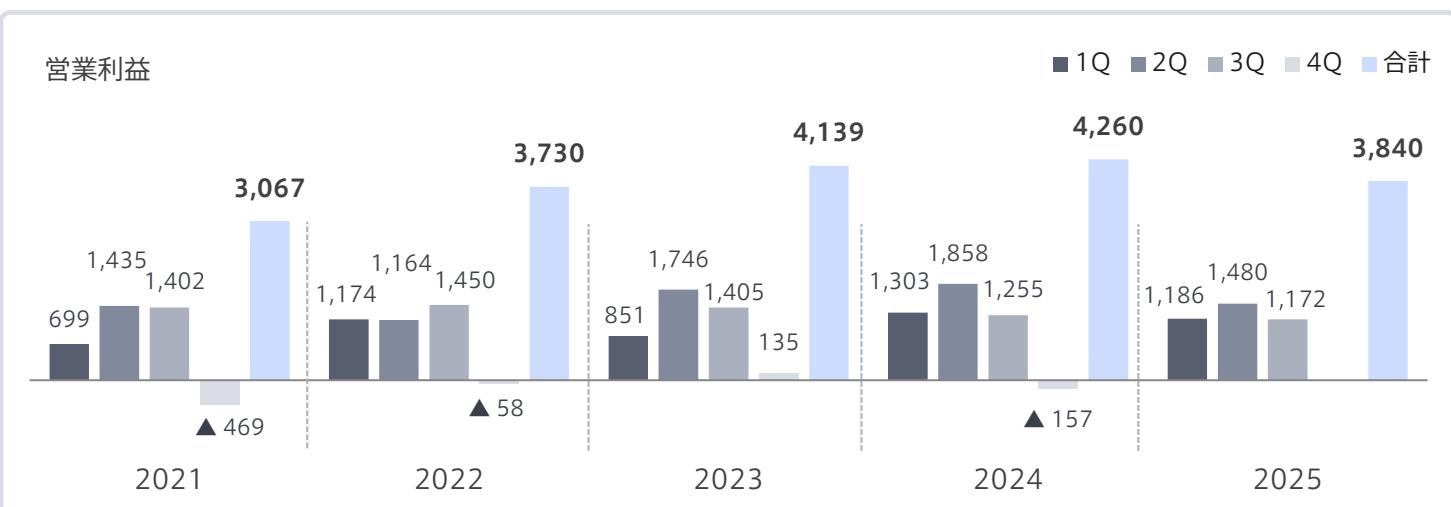
※1 事業別の売上高は管理会計上の数値。

連結	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
売上高	52,925	52,619	▲305	
営業利益	4,417	3,840	▲577	

事業別	2024年度 3Q(4-12月)	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
PLAZA	35,135	36,894	+1,759	
ライトアップ ショッピングクラブ※2	4,153	-	▲4,153	
BCL・ CPコスメティクス	13,846	14,995	+1,148	
本社およびその他※3	▲208	730	+938	
計	52,925	52,619	▲305	

※2 ライトアップショッピングクラブは、株式譲渡に伴い、2024年度第1四半期末において、連結範囲から除外。

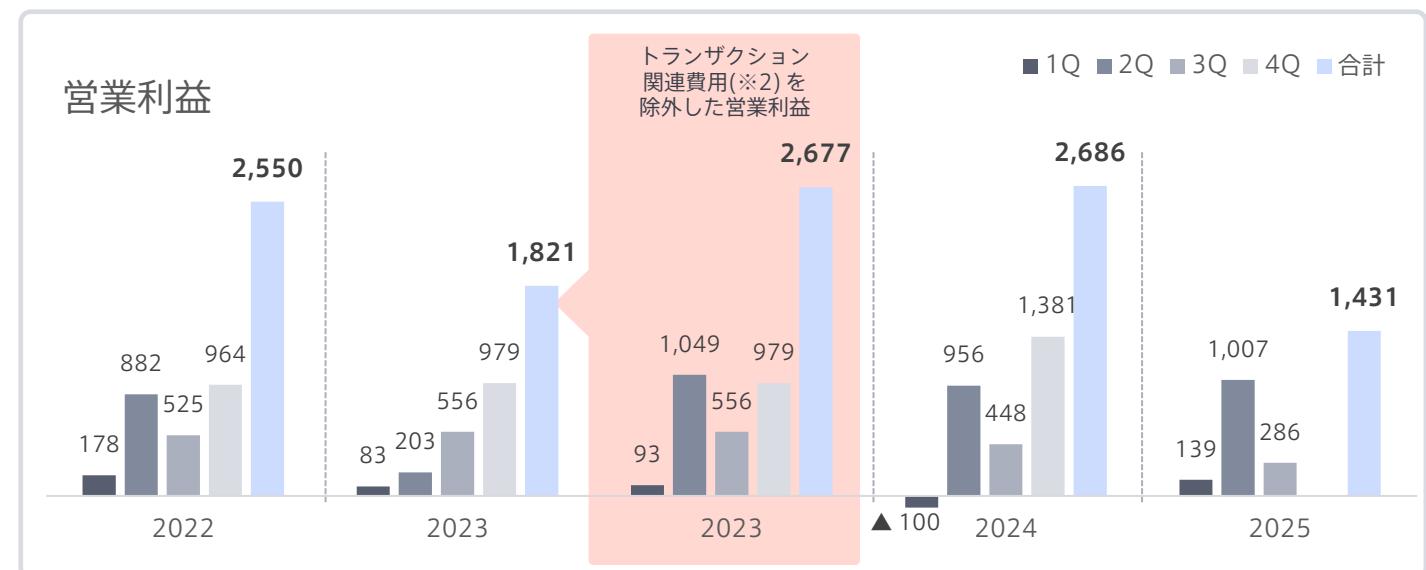
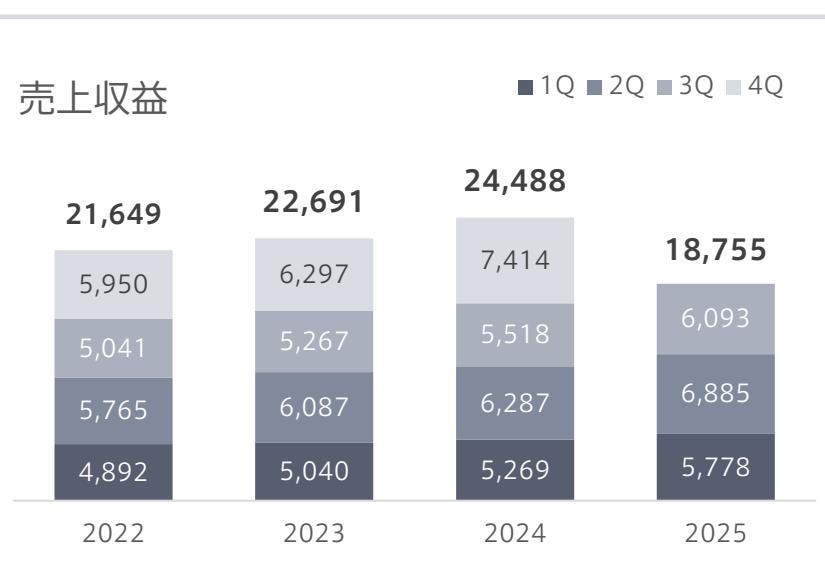
※3 本社およびその他には、Cath Kidstonほか新規事業領域の売上を含む。



個別指導塾事業および幼児教育他事業は、フランチャイズ教室（以下、FC教室）の新規開校や不採算FC教室の直営化などを背景とした順調な生徒数の拡大に加え、株式会社寺小屋グループの連結などにより、増収。また、不採算FC教室の直営化などの影響により、主に売上高人件費率の上昇など教室運営費用が先行したもの、第1四半期に計上された大型教室の直営化時に発生した受贈益の影響、並びに売上の増加などにより、営業利益で増益。

※1 事業別の売上収益は管理会計上の数値。

連結	2024年度 3Q (3-11月)	2025年度 3Q (3-11月)	前年差	単位： 百万円	事業別	売上収益 ※1			単位： 百万円
						2024年度 3Q (3-11月)	2025年度 3Q (3-11月)	前年差	
売上収益	17,074	18,755	+1,681		個別指導塾事業	7,996	8,010	+13	
営業利益	1,305	1,431	+126		幼児教育他事業	9,078	10,745	+1,667	
					計	17,074	18,755	+1,681	



※2 やる気スイッチグループがTBSグループ入りに伴い発生した費用 (IFRS) を指し、連結上では日本基準に組み替えて一部を特別損失に計上しています。

2025年度 第3四半期決算ハイライト

▶ 2025年度 業績見通し

株主還元

成長戦略の進捗

その他トピックス

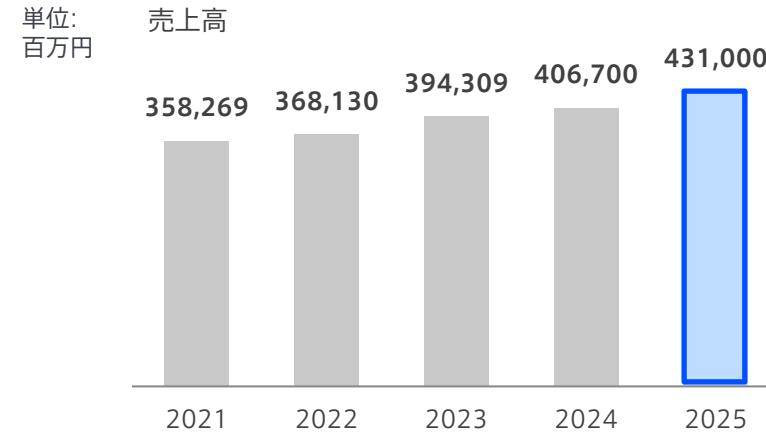
参考資料

2025年度 連結業績予想

TBS

メディア・コンテンツ事業の売上高と営業利益を上方修正した一方、ライフスタイル事業の売上高と営業利益を下方修正。
連結全体では、修正なし。

連結	2024年度 実績	2025年度予想 (修正なし)	前年差
売上高	406,700	431,000	+24,299
営業利益	19,465	24,000	+4,534
経常利益	31,604	37,000	+5,395
親会社株主に帰属する当期純利益	43,914	52,500	+8,585



セグメント別	売上高				営業利益			
	2024年度 実績	前回予想 (11/11発表)	修正予想	前回予想 からの 増減	2024年度 実績	前回予想 (11/11発表)	修正予想	前回予想 からの 増減
メディア・コンテンツ	296,242	315,500	316,500	+1,000	8,490	14,000	14,500	+500
ライフスタイル	93,576	98,400	97,400	▲1,000	3,505	3,800	3,300	▲500
不動産・その他	16,881	17,100	17,100	-	7,468	6,200	6,200	-
調整額	-	-	-	-	0	-	-	-
連結	406,700	431,000	431,000	-	19,465	24,000	24,000	-



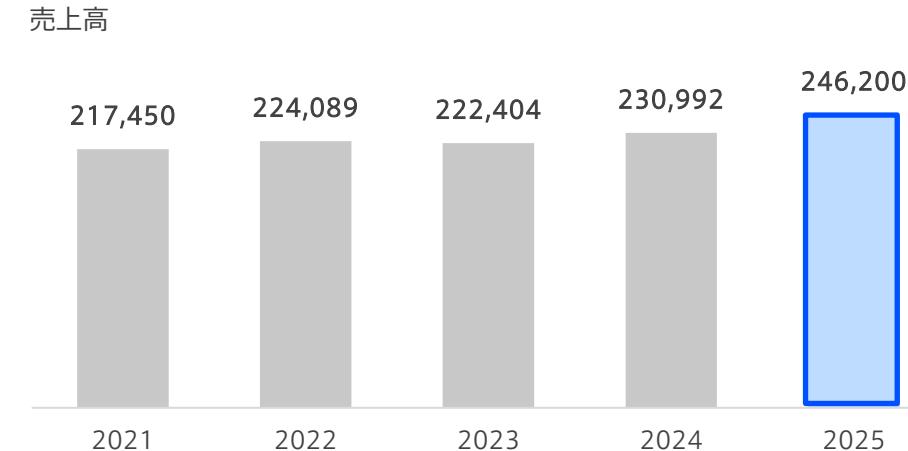
2025年度 TBSテレビ業績予想の修正

TBS

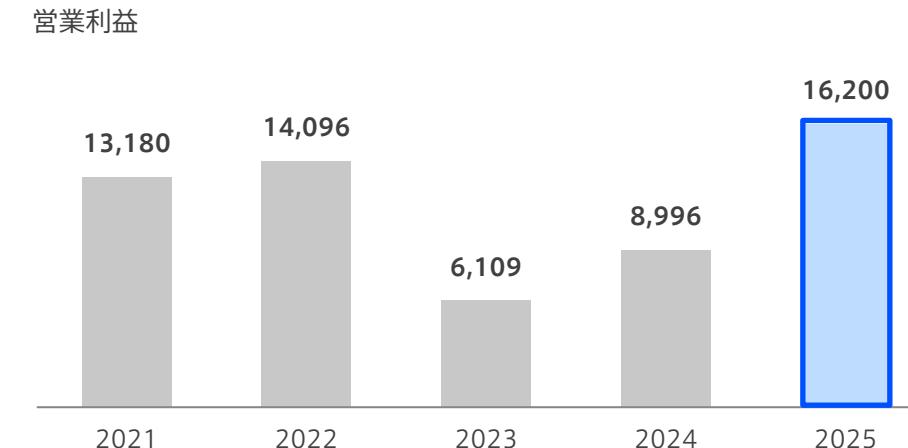
売上高および各利益を、上方修正。また、タイム、スポットの予想を変更。

TBSテレビ	2024年度 実績	前回予想 (11/11発表)	修正予想	前回予想 からの増減
売上高	230,992	245,700	246,200	+500
営業利益	8,996	15,300	16,200	+900
経常利益	11,750	17,400	18,300	+900
当期純利益	25,727	39,300	39,800	+500

単位:
百万円



		2025年度 3Q(4-12月) 実績	通期予想 (前回予想との比較)
タイム	+9.7%	+9.1%	→ +8.9%
スポット	+7.5%	+5.4%	→ +5.9%
配信広告収入 (百万円)	10,850	14,900	(修正なし)
番組原価 (百万円)	73,890	100,000	(修正なし)



2025年度 第3四半期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

▶ 株主還元

成長戦略の進捗

その他トピックス

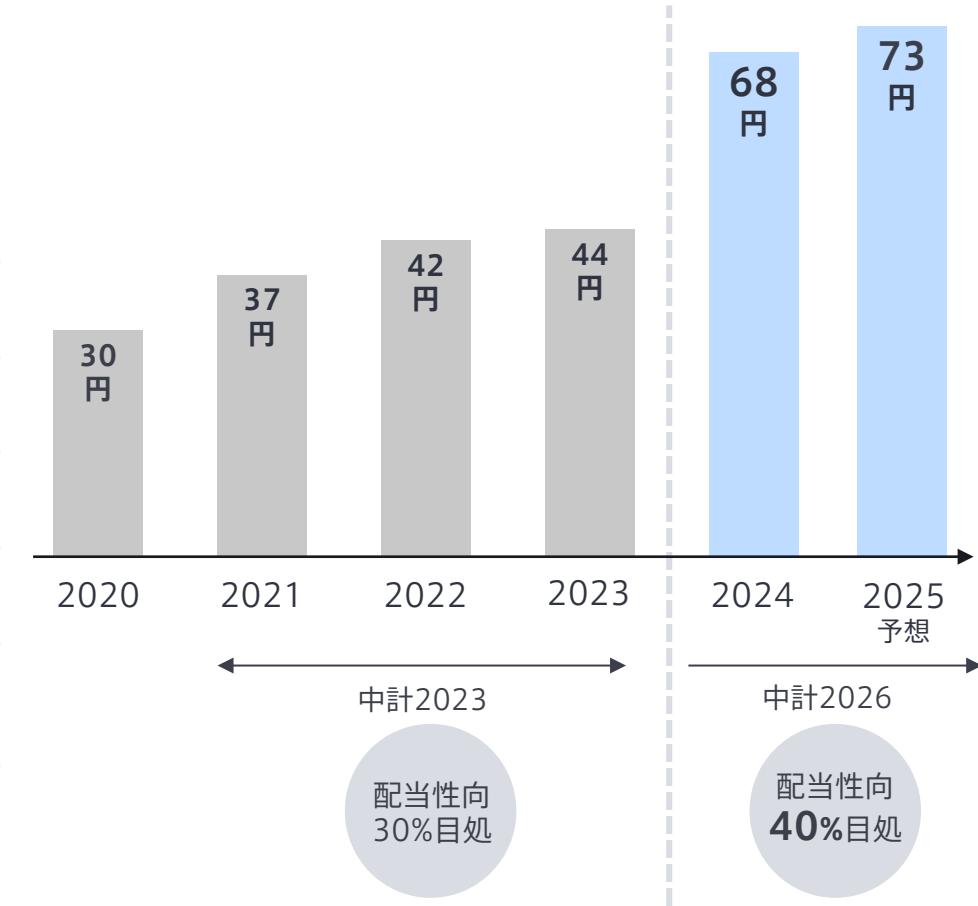
参考資料

株主還元方針と年間配当予想

TBS

基本方針 連結ベースの配当性向**40%**を目処として、安定的かつ継続的に配当を実施するとともに、**総還元性向**を意識したうえで、自己株式の取得も機動的に実施します。

	1株当たり配当金（円）			配当性向（%）	特殊な要因*の影響を除いた配当性向（%）
	中間	期末	年間		
2020年度	15	15	30	18.3	59.5
2021年度	15	22	37	19.7	30.9
2022年度	20	22	42	20.1	30.3
2023年度	22	22	44	18.9	34.4
2024年度	27	41	68	24.9	38.9
2025年度 (予想)	35	38	73	21.9	40.2



2025年度 第3四半期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

▶成長戦略の進捗

その他トピックス

参考資料

- 中間期決算時に更新したキャピタル・アロケーションに基づき、着実に計画を推進中。
- 成長投資においては、Legendary Entertainmentとの戦略的パートナーシップの締結や、
スタイリングライフ・ホールディングス株式の100%取得（完全子会社化）を行うなど、事業の拡張に向けた投資を積極的に推進中。

1 赤坂二・六丁目地区開発計画において
合計700億円の借入枠を設定。

2 2024年度は396億円規模、
2025年度は9月末時点で537億円規模の
政策保有株式の売却を実施。
進捗状況を踏まえ、中計2026での
売却規模を1,100億円に拡大。
引き続き、成長投資の進捗によって
機動的に対応。

3 2024年度の営業キャッシュ・フローは
232億円。引き続き、グループ全体での
成長を通じて、営業キャッシュ・フロー
の拡大を着実に推進。



4 コンテンツIPの獲得・拡大に向けた成長投資を
着実に実施中。
(株)SAND B設立
(株)ケイコンテンツ子会社化
(株)WACUL子会社化
EduTainmentの事業開発／拡大 他
⇒3Q末時点で計284億円の成長投資を実施
Legendary Entertainmentとの
戦略的パートナーシップを締結（1月）
(株)スタイリングライフ・ホールディングス 100%化（3月予定）他
⇒意思決定ベースで計686億円の成長投資

5 2024年度は総額169億円の株主還元を実施
2025年度は249億円の自己株式を取得実施する
とともに、一株当たり5円増配の73円と予想。
株主還元の進捗状況を踏まえ、
中計2026での株主還元規模を800億円に拡大。

※ 2024年度の配当は、2023年度期末配当及び
2024年度中間配当を計上

Legendary Entertainmentとの戦略的パートナーシップ締結

2026/1/16
TBSはLegendary Entertainmentの
1億5,000万ドル相当の
持分を取得し (約237億4,350万円*)
戦略的パートナーシップを締結

*1ドル=158.29円換算、1/13時点



日本発のIPを原作とした作品を
複数本、継続的に
共同企画・開発していく

Legendary Entertainmentとは

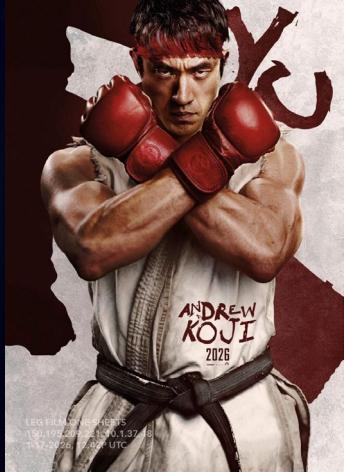


LEGENDARY

映画・テレビ・コミック等、多角的なメディア展開を行う
ハリウッドを拠点とする**メジャースタジオ**。
国際的な人気を誇るIPを多数保有し、高品質かつ商業価値の高い
コンテンツを世界中に提供し続けています。

《作品》

これまで『DUNE/デューン 砂の惑星』、モンスター・ヴァース (Monsterverse) シリーズ、『マインクラフト』などで
世界的な超大作シリーズを構築・拡大。日本発IPも多く取り扱っており、開発中の作品も多数。



『DUNE/デューン 砂の惑星』

『マインクラフト』

モンスター・ヴァース シリーズ

『名探偵ピカチュウ』

『ストリートファイター』
*2026年10月公開

TBS × THE SEVEN × LEGENDARYのワーキンググループ始動

《作品》

THE SEVEN

- ・TBS HDが100%出資して2022年に設立。
- ・ドラマや映画などの映像作品を軸に、**ハイエンドなコンテンツ**を企画開発・プロデュース。
- ・Netflixシリーズ『今際の国のアリス』(シーズン3 | 制作協力)や『幽☆遊☆白書』といった世界的ヒット作品がプロデューサー陣の代表作。



© 麻生羽呂・小学館／ROBOT



© Yoshihiro Togashi 1990年-1994年
原作／冨樫義博「幽☆遊☆白書」
(集英社「ジャンプコミックス」刊)



©2025映画「愚か者の身分」製作委員会



26年1月、日本発IPの共同企画・開発を目的とした
TBS × THE SEVEN × LEGENDARYのワーキンググループが始動。

LEGENDARYとともにゼロベースから企画開発を行い、
日本の創造性とハリウッドの制作手法を融合させる
“Cultural Translator (文化の翻訳者)”
として、日本由来のコンテンツを世界に届けます。

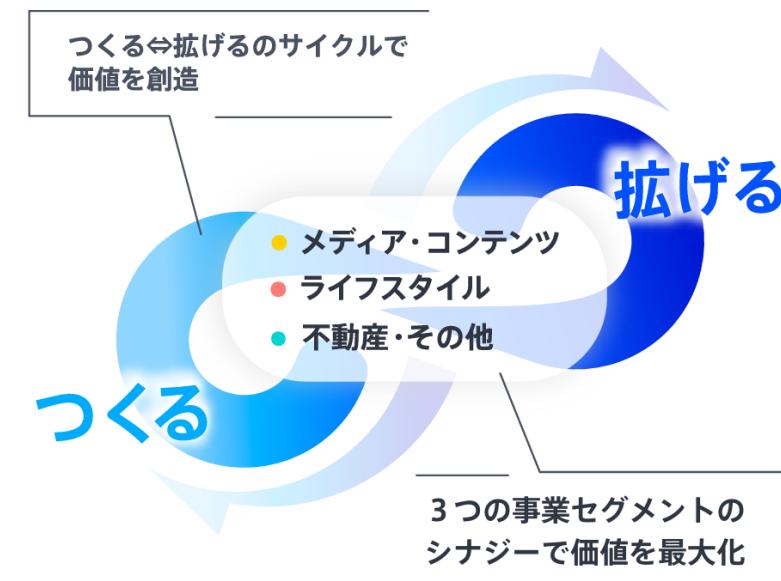
スタイリングライフ・ホールディングス株式の100%取得 (完全子会社化)

3月27日予定

TBS

連結子会社である株式会社スタイリングライフ・ホールディングスについて、2023年9月に出資比率を51.0%から69.9%に高めたが、事業が順調に成長していることから、2026年3月に株式を追加取得し、完全子会社化する。これにより、TBSグループの主要事業の一つであるライフスタイル事業の中核として、更なる事業拡大を目指す。また、メディア・コンテンツ事業とのシナジー最大化を狙い、リテールメディア活用をはじめとしたグループ連携施策を推進する。

業績推移



出典 : TBSグループ 統合報告書2025

コンテンツIPのマーチャンダイズ戦略の強化やリテールメディア戦略を推進し、TBSグループ全体の事業価値を最大化させる。

2025年度 第3四半期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

成長戦略の進捗

►その他トピックス

参考資料

グローバルビジネス①



Inspiring
Global Love
for Japan
through
Timeless
Moments



THE SEVENの取り組み～



Netflixシリーズ
「今際の国のアリス」
シーズン3
2025年9月25日 世界配信



© 麻生羽吕・小学館／ROBOT

Netflix週間グローバル
TOP10の非英語シリーズ
部門で全世界1位。
Season1、2も含め、
3作同時にTOP10入り。

Netflixシリーズ
「国民クイズ」
2026年 世界配信



主演：山田孝之
伝説的カルトコミック
を完全映像化。
撮影終了。

劇場用映画
「愚か者の身分」
2025年10月24日 公開



© 2025映画「愚か者の身分」製作委員会

出演：北村匠海・林裕太・
綾野剛

釜山国際映画祭で最優秀俳優賞
を3人同時受賞するなど多数受
賞。Netflixにて世界配信され
ると、初週から1週間以上にわ
たり今日の映画TOP10（国
内）で1位を獲得。

TBS x U-NEXT x THE SEVENグローバルプロジェクト
ドラマ「ちるらん 新撰組鎮魂歌」

2026年3月 地上波放送
U-NEXTで独占配信



© 橋本エイジ・梅村真也/コアミックス ©THE SEVEN

出演：山田裕貴・鈴木伸之・中村蒼・細田佳央太・
上杉柊平・藤原季節・杉野遙亮・柳俊太郎・
宮崎秋人・岩永ひひお・綾野剛

スペシャルドラマ“江戸青春篇”は、2026年3月26日・27日
に地上波で2夜連続放送。ドラマシリーズ“京都決戦篇”は、
3月27日より毎週金曜にU-NEXTで独占配信。

Netflixシリーズ
「俺のこと、
なんか言ってた？」
2026年 世界配信



主演：役所広司
脚本：宮藤官九郎
企画・プロデューサー：
磯山晶

Netflixで世界独占配信
予定。

THE SEVEN x M83

THE SEVENは、韓国トップVFXスタジオ「M83」とVFX戦略的パートナーシップを締結。日韓最高峰のスタジオが融合し、
アジア発のハイクオリティVFX映像をグローバル市場へ展開する強力な制作体制を構築する。VFX制作における優先的かつ
包括的な連携、技術・ワークフローの共同研究開発（R&D）、国際共同制作の強化によるグローバル市場への共同進出を推進。

グローバルビジネス②



Inspiring
Global Love
for Japan
through
Timeless
Moments

SASUKE/NINJA WARRIORのさらなるグローバル展開



これまで165以上の国と地域で放送・配信、25か国で現地版を制作。実績のある日本を含むアジア、米国、ドイツ、フランス、ポーランドを除く全世界で、グローバル・ディストリビューターBanijayと協業。フォーマット展開の拡大を目指す。

TBSコンテンツのグローバル流通

国内最大の配信プラットフォーム **U-NEXT** が独占パートナーシップ契約を結んだ **HBO max** にて、TBSコンテンツを世界各国で配信開始。



K-POPを題材にし、多国籍の俳優を起用することで日本発のドラマの世界進出を目指す意欲作「DREAM STAGE」（金曜午後10時）も **HBO max** で配信予定。

新規IP開発



「TONO～体を張ってお膳立てせよ～」

イギリス最大級の制作配給会社All3Media Internationalと共同制作。5人の「殿」と10人の「侍」が挑むフィジカルゲーム番組。1月13日、20日、27日3週連続地上波で放送。



「シンクロゲーム」

韓国の総合エンタテインメント企業CJ ENMとの共同開発プロジェクト第2弾として制作。

「頭脳」と「フィジカル」という異なる能力を持つペアが挑むサバイバルバラエティ。

2026年2月23日、24日に韓国のtvNで二夜連続で放送予定。

TBS

コンテンツのタイムレスバリュー向上施策の進捗

TBS

LTV4-59

2025年度1-3Q 視聴率

(単位:%)

	全日	ゴールデン	プライム
TBS	1.8 [0.0]	3.9 [+0.3]	3.7 [+0.2]
PUT	10.2 [▲0.4]	18.9 [▲0.7]	17.8 [▲0.8]

(※ [] 内は前年差)

2025年度1-3Q LTV4-59好調番組

(単位:%)

マツコの知らない世界	5.2
バナナサンド	5.1
バナマンのせっかくグルメ！！	4.7
日曜劇場「キャスター」	4.5
それSnow Manにやらせて下さい	4.4
水曜日のダウンタウン	4.0
日曜劇場「19番目のカルテ」	4.0
情報7daysニュースキャスター	3.9
CDTVライブ！ライブ！	3.9
坂上＆指原のつぶれない店	3.9
日曜劇場「ザ・ロイヤルファミリー」	3.9

(2025/3/31 ~ 2025/12/28 : 週ベース
(ビデオリサーチ調べ : 関東地区)

Timeless Value

WACUL

デジタルマーケティングにより
コンテンツレバレッジを加速

配信



第3四半期は、三冠達成

総再生回数 約3億3,500万回

UB数 約2,700万UB

総再生時間 約1億5,500万時間



「じゃあ、あんたが作ってみろよ」は、
平均再生回数470万回、
第7話では522万回を記録。



「水曜日のダウンタウン」内の
「名探偵津田」企画が
12月17日放送回で520万回、
12月24日放送回で493万回を記録。

U-NEXT

課金ユーザー数 500万人を突破

出典：株式会社U-NEXT HOLDINGS 2026年8月期 第1四半期決算説明資料

映画

劇場版「TOKYO MER
~走る緊急救命室~南海ミッション」「映画ラストマン -FIRST LOVE-」



ドラマ派生の
映画を積極的に制作



イベント

「ラヴィット！ロック 2025」

「DREAM STAGE
NAZE Showcase Tour」



「CDTVライブ！ライブ！
春の大感謝祭2026」



地上波レギュラー枠



「うるわしの宵の月」
(1月クール)

©やまもり三香・講談社/「うるわしの宵の月」製作委員会



「エリスの聖杯」
(1月クール)

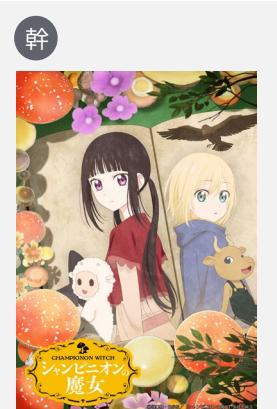
©常磐くじら・ドリコム/「エリスの聖杯」製作委員会



「どうせ、恋してしまうんだ。
2期」
(1月クール)

©満井春香・講談社/アニメ「どうせ、恋してしまうんだ。」製作委員会

* 幹 はTBSテレビ幹事作品



「シャンピニオンの魔女」
(1月クール)

©樋口橋・白泉社/「シャンピニオンの魔女」製作委員会



「氷の城壁」
(4月クール)



「灰原くんの強くて
青春ニューゲーム」
(4月クール)

©雨宮和希・ホビージャパン/「灰原くんの強くて青春
ニューゲーム」製作委員会

©阿賀沢紅茶/
集英社・TVアニメ「氷の城壁」
製作委員会

SOON TO BE ANNOUNCED



「また殺されて
しまったのですね、
探偵様」 (4月クール)

©2026/にをは/KADOKAWA/
またころ製作委員会

劇場版アニメ

「ひやくえむ。」

2025年9月19日公開

第49回日本アカデミー賞優秀賞の優秀アニメーション作品賞受賞。
興行収入7.7億円*を突破。
北米、アジア圏を含み世界規模で上映。
*1月23日現在



監督：岩井澤健治
声の出演：松坂桃李・
染谷将太

©魚豊・講談社/『ひやくえむ。』製作委員会

「パリに咲くエトワール」

2026年3月13日公開

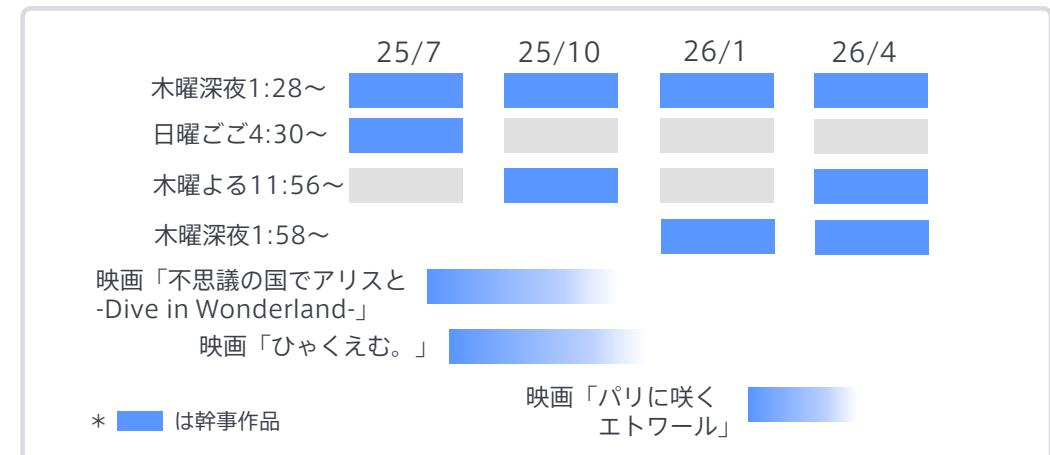
主題歌：
「風に乗る」 緑黄色社会
(ソニー・ミュージックレーベルズ)



監督：谷口悟朗
キャラクター原案：
近藤勝也 (「魔女の宅急便」ほか)
脚本：吉田玲子 (「猫の恩返し」
「けいおん！」ほか)

©「パリに咲くエトワール」製作委員会

TBSテレビ幹事作品数の推移



地上波ドラマ派生の映画



TBSテレビ日曜劇場で2023年放送
「ラストマンー全盲の捜査官ー」
待望の映画化。観客動員110万人、
興収15億円突破。(2026年1月末時
点)



TBSテレビ日曜劇場で2021年放送
の「TOKYO MER」劇場版第三弾。
昨年公開の前作は観客動員392万人、
興収52.9億円の大ヒットを記録。

舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」ラストイヤー



総観客数130万人突破し、ロングランを続ける舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」は、上映5年目を迎える2026年12月27日をもって千秋楽を迎え、その幕を下ろすことが決定。ラストイヤーにハリー・ポッター歴代キャストなど10名の出演が決定。

映画・興行・催事 今後のラインアップ

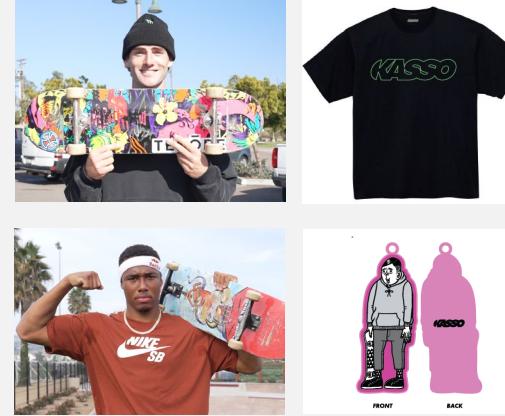
TBS

2026年2月5日 現在

	期間	タイトル	備考
映画	2025/12/24 公開	「映画ラストマン -FIRST LOVE-」	配給：松竹
	2026/1/9公開	「GRIT 一バレーボール男子日本代表 栄光への始発点一」	配給：日活
	2026/3/13公開	「パリに咲くエトワール」	配給：松竹
	2026/3/27公開	「90メートル」	配給：クロックワークス
	2026年公開	「君のクイズ」	配給：未定
	2026年公開	「黒牢城」	配給：松竹
	2026年夏公開	劇場版「TOKYO MER～走る緊急救命室～CAPITAL CRISIS」	配給：東宝
興行	2022/7/8~2026/12/27	舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」	TBS赤坂ACTシアター
	2026/2/6,11,26	DREAM STAGE NAZE Showcase Tour	恵比寿LIQUIDROOM なんばHatch Zepp Fukuoka
	2026/3/7~3/8	CDTVライブ！ライブ！春の大感謝祭2026	Kアリーナ横浜
	2026/3/8~3/22	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring 2026 「ロミオとジュリエット」	Bunkamuraオーチャードホール
	2026/3/16~3/22	音楽劇「アカネイロのプレリュード～赤坂の奏～」	草月ホール
	2026/3/21~5/9,5/21~6/6	ミュージカル「メリー・ポピンズ」	東急シアターオーブ／梅田芸術劇場メインホール
	2026/4/4~4/5,4/11~4/12	STARS ON ICE JAPAN TOUR 2026	東和薬品RACTABドーム／東京辰巳アイスアリーナ
	2026/5/23~6/14	熊川哲也 K-BALLET TOKYO Spring Tour 2026 「パリの炎」	Bunkamura オーチャードホール
	2026/5/30	「エガフェス2026～レジェンドイヤー・ファイナル～」	富士急ハイランド・コニファーフォレスト
	2026/6/7~6/21	ミュージカル「神経衰弱ぎりぎりの女たち」	日本青年館ホール
	2026/6/10~6/30,7/8~7/12	舞台「俺節」	東京建物Brillia HALL／キャナルシティ劇場
	2026/3/14~6/14	特別展「超危険生物展 科学で挑む生き物の本気」	国立科学博物館
催事	2026/5/29~8/12	大ゴッホ展 「夜のカフェテラス」	上野の森美術館

ブランド事業

①グローバル市場に向けた展開 「KASSO」



「KASSO FEST SKATE & SOUND」開催決定

- ・3月21日～22日 アメリカ・カリフォルニア州ロングビーチにて、スケートボードショーと音楽ライブを融合させたイベントを開催。
- ・オリンピック出場者のトム・シャーやコルダノ・ラッセルなど著名なスケーターが集結。
- ・日本を含む全世界にYouTubeで生中継。
- ・アパレル・グッズ展開も進行中。

②エデュテインメント事業での展開 新規IP「キキとポップ」・「ベベフィン」



- ・Pinkfong社と共同制作した新規IP「キキとポップ (Kikipupup)」を2025年10月、YouTubeで世界展開。英語版は2か月で25万回再生超え。
- ・1月クールで「キキとポップ」を地上波放送中。副音声で英語も。
- ・「第101回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2026」に 出展するなど、マーチャンダイジングも幅広く展開。
- ・3月に開催する「AKASAKA あそび！学び！フェスタ」にも出展予定。 © The Pinkfong Company



- ・幼児向け英語教材 (ワークブック) 第二弾近日詳細発表予定。
- ・動物をテーマに 「どうぶつ奇想天外・WakuWaku」と コラボ。

ヒトIP事業



STARGLOW

- ・オーディションプロジェクト「THE LAST PIECE」から生まれた5人組ボーイズグループ「STARGLOW」が1月21日に「Star Wish」でデビュー。初週4.2万枚を売り上げ、1月27日発表の「オリコン週間シングルランキング」で1位を獲得。
- ・プレデビュー曲「Moonchaser」のYouTube総再生回数500万回超え。ファンクラブ加入者数も順調に推移。
- ・ブランチパークにてデビュー記念のコラボカフェ開催。
- ・「THE LAST PIECE」のYouTubeやその他SNSでの関連動画総再生回数が1億回を突破。TBSドキュメンタリー映画祭2026に出品し、3月から全国6か所の映画館で上映予定。

THE LAST PIECE
-Glow of Stars-

ゲーム事業 TBS GAMES



KILLER INN

- ・TBS GAMESとスクウェア・エニックスが「KILLER INN」を共同製作。
- ・2月13日からSteam®にて早期アクセス版の配信開始。
- ・地上波・配信にて「KILLER INN」の特別番組を展開予定。



SASUKE VR

- ・2025年12月19日Meta Questでローンチ。
- ・北米中心にプレイヤーから高評価獲得。

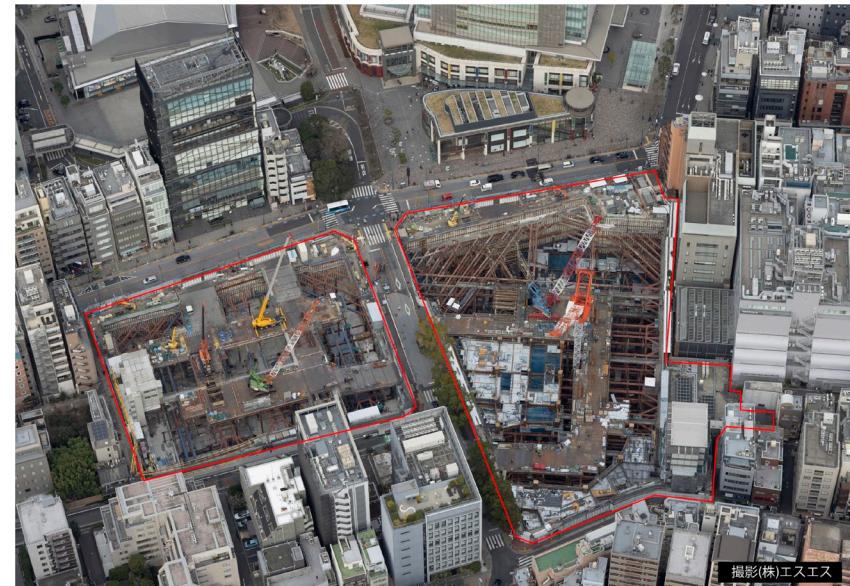
赤坂エンタテインメント・シティ

TBS



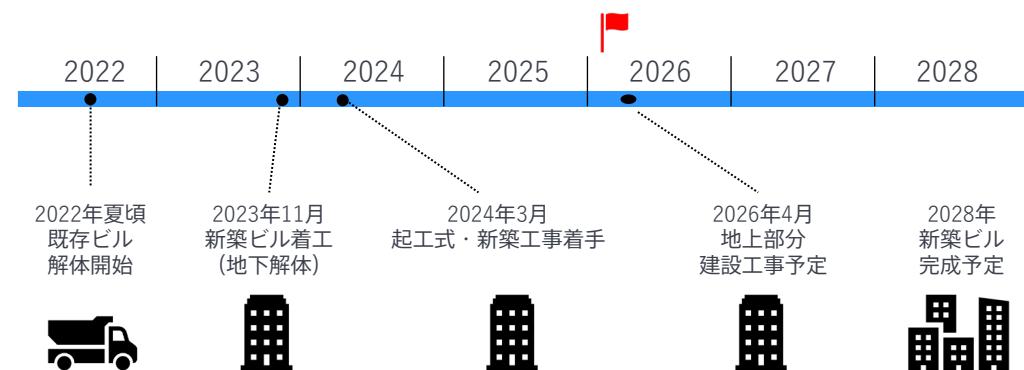
※ 青字部分は2028年竣工予定の再開発エリア（写真・イラストはイメージです。）

建設現場の航空写真（2026年1月中旬）



撮影(株)エスエス

再開発エリアの工事スケジュール



「乾燥さん」水分力シリーズより、新商品＆再販商品が発売！

乾燥による肌の不快感ゼロを目指すトータルケアブランド「乾燥さん」の水分力シリーズより、新商品＆再販商品のご案内です。

この度、クッションファンデーション2色とふき取り美容液が新登場！
また、ミスト状化粧水もご好評につき再販売いたしました。

乾燥もべたつきも気になる方へおすすめの水分力シリーズ。
1日中べたつかず、みずみずしい肌へ！



左) 乾燥さん 水分力カスキンケアクッションファンデーション ※2月10日発売
中) 乾燥さん 薬用水分力ふき取りエッセンス [医薬部外品] ※2月10日発売
右) 乾燥さん 水分力バリアミスト ※好評発売中

PLAZA

あなたの街にPLAZAがやってくる！

PLAZA
MITSUI OUTLET PARK
OKAZAKI
OPEN
2025.11.4 TUE.

PLAZA
NAGOYA
SAKAECHIKA
OPEN
2025.11.7 FRI.

PLAZA
IWAKI LATOV
OPEN
2025.11.22 SAT.

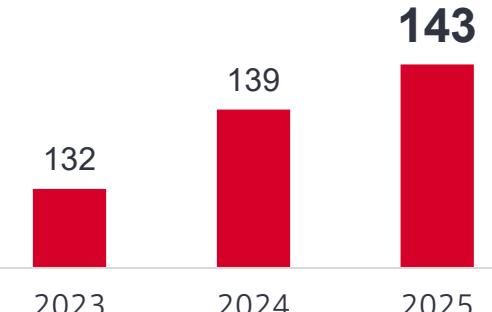
PLAZA
SHISUI
PREMIUM OUTLETS
OPEN
2026.2.27 FRI.

PLAZA
AEON MALL
Makuhari-Shintoshin
**RENEWAL
OPEN**
2026.3.19 THU.



三井アウトレットパーク岡崎店

PLAZA店舗数*



*2023・2024は期末時点
2025は第3四半期末時点

やる気スイッチグループ

TBS

教室数および生徒数推移

教室数推移

2024年11月末時点
2,440 校

2025年11月末時点
2,480 校

生徒数推移

2024年11月末時点
136,057 名

2025年11月末時点
140,284 名

直近の主な取り組み

幼児向け番組「リッスン♪リッスン Hello English！」の企画協力・監修 ▼

やる気スイッチグループが企画監修を手掛け、TBSテレビと幼児向け英語番組を制作。1話15分（全60話）で、2月2日からTVerにて配信スタート。英語、知育、運動、そしてライフスキルまで、やる気スイッチグループの幼児・英語教育のメソッドや指導ノウハウが詰まっている。



◀ JNN系列局で初の「スクールIE」開校

テレビ高知（KUTV）のグループ会社が、JNN系列局として初めて、やる気スイッチグループの基幹ブランドである「スクールIE」を高知県に開校させた。これまでJNN系列局では、エントリー ブランドである「忍者ナイン」の開校実績を積み重ねてきたが、今回の「スクールIE」開校は、各社の連携が一段と深化し、より収益性の高いブランド展開へと発展したことを示し、JNN系列局の収益貢献に寄与する取り組みとなっている。



新規開校状況（2025年3月～）

2026年2月期 累計開校件数

【全社】 83 校・ラボ・園・拠点

個別指導スクールIE
2026年2月期 累計開校件数
12 校 開校
■ FC 舟入校(広島)
■ FC フジグラン高知校(高知) etc.
■ FC 薩円台校(千葉) etc.

JNN系列で
初のスクールIE開校！

WinBe
2026年2月期 累計開校件数
1 校 開校

iKidsStar
2026年2月期 累計開校件数
3 園 開園

CEチャイルドアズ
2026年2月期 累計開校件数
5 校 開校
■ 直営スクエア東京校(東京) etc.
■ FC 松山市駅校(愛媛) etc.

KidsDuo
2026年2月期 累計開校件数
3 校 開校
■ FC 星ヶ丘駅前(愛知)
■ FC 福島野田(大阪)

忍者ナイン
2026年2月期 累計開校件数
42 ラボ 開校
■ FC 府中ラボ(東京) etc.
■ FC OBS豊後大野ラボ(大分) etc.
■ FC チューリップテレビ
クロスベイ新湊ラボ(富山) etc.



HALLO
2026年2月期 累計開校件数
17 拠点 開講
■ YPFC ハロジ[®]ガ[®]鹿島田店(神奈川) etc.
■ YPFC いにタス山梨(山梨) etc.



※1 海外教室除く

※2 『WeAct!』及び『Kids Duo advanced』は幼児英会話教室ブランドの『WinBe』内でカウント

※3 プログラミング教室『HALLO』の開校件数は(株)YPスイッチの直営及びFC(他塾展開)の開講数のみをカウント

2025年度 第3四半期決算ハイライト

2025年度 業績見通し

株主還元

成長戦略の進捗

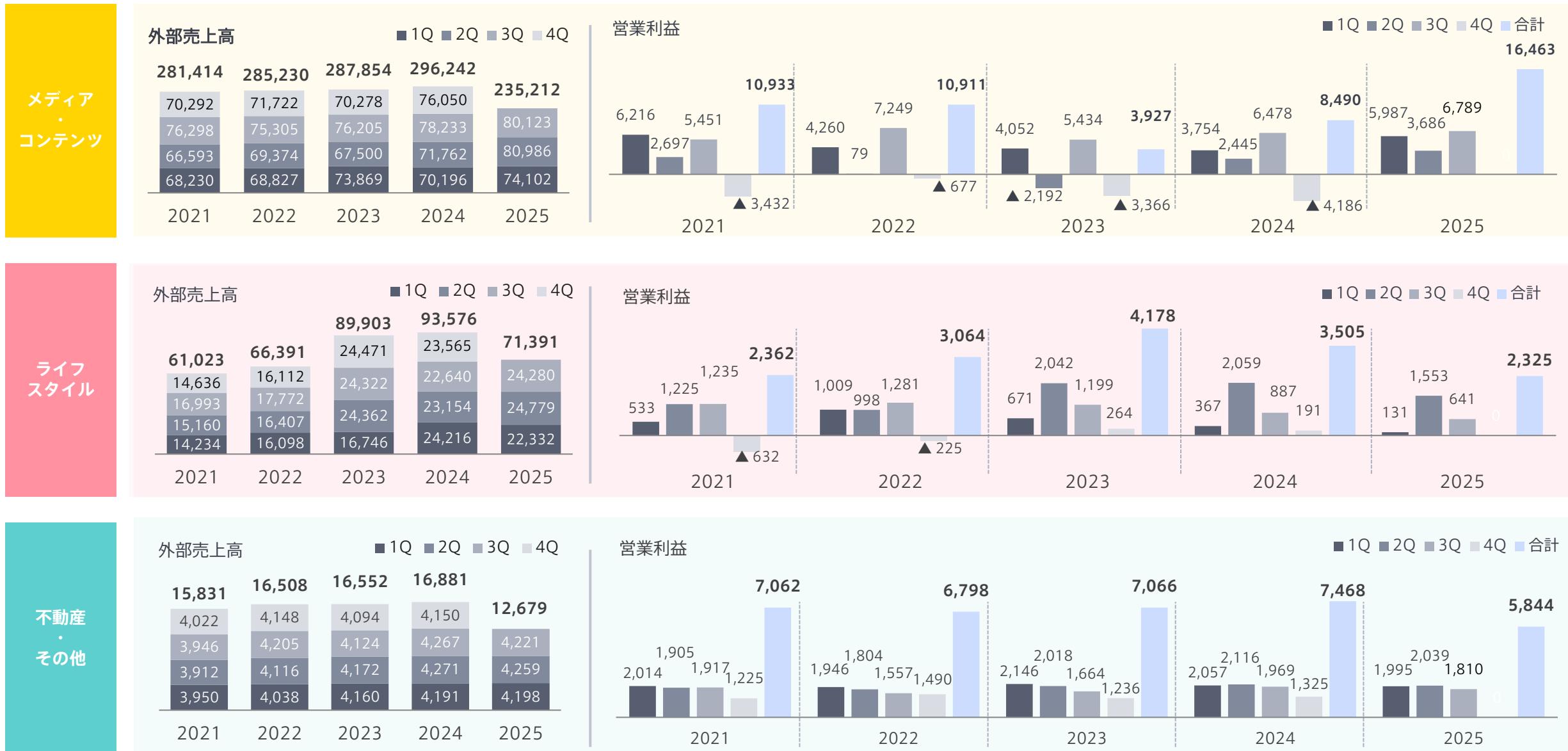
その他トピックス

► 参考資料

連結セグメント別 経年推移

TBS

単位：百万円



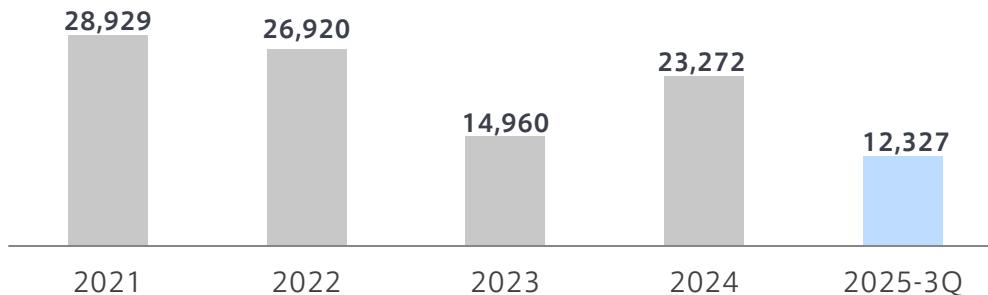
設備投資と減価償却費

TBS

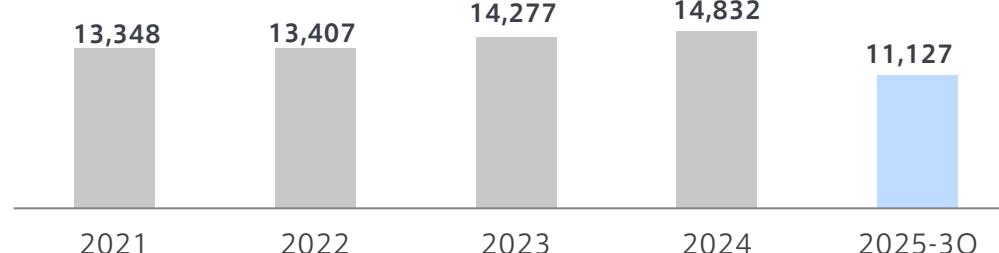
連結	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	12,327	▲6,879	
減価償却費	11,127	+9	

TBSテレビ	2025年度 3Q(4-12月)	前年差	単位: 百万円
設備投資	4,907	+1,178	
減価償却費	5,571	▲183	

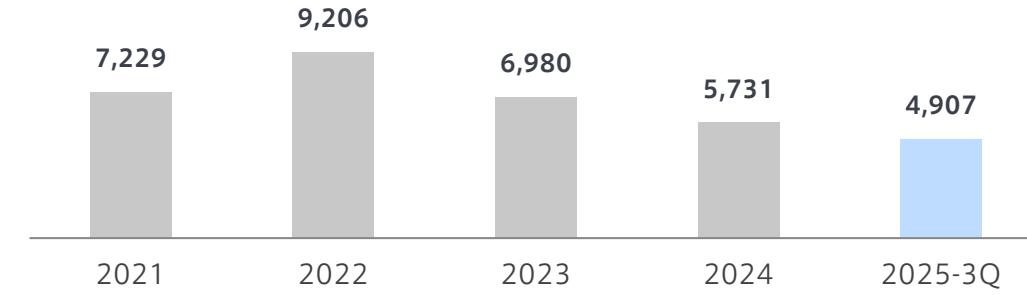
連結設備投資



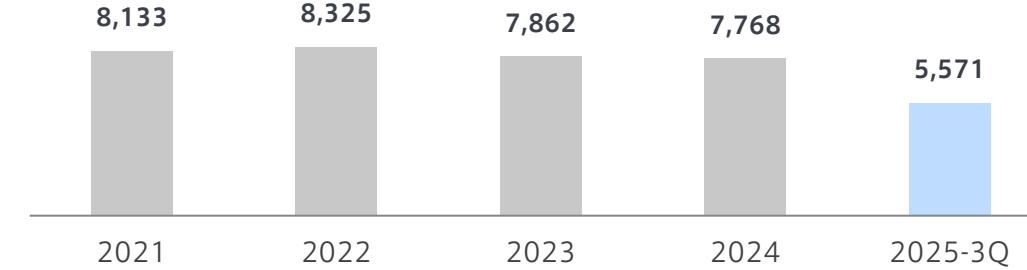
連結減価償却費



TBSテレビ設備投資



TBSテレビ減価償却費



連結貸借対照表

TBS

	2025年 3月末	2025年 12月末	比較		2025年 3月末	2025年 12月末	比較	単位: 百万円
流動資産	202,958	220,615	+17,657	流動負債	109,782	102,603	▲7,179	
				固定負債	237,109	315,144	+78,034	
				負債合計	346,892	417,748	+70,855	
固定資産	1,093,167	1,327,662	+234,495	自己資本	935,712	1,116,590	+180,878	
				非支配株主持分	13,520	13,938	+418	
				純資産合計	949,232	1,130,529	+181,296	
資産合計	1,296,125	1,548,277	+252,152	負債純資産合計	1,296,125	1,548,277	+252,152	

四半期末有利子負債残高 159億円 (前期末比 +20億円)

※ リース債務は除く

LTV4-59視聴率(4-59歳)

TBS

(※ []内は前年差 単位: %)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	②1.8 [0.0]	②3.9 [+0.3]	②3.7 [+0.2]	②1.3 [0.0]
日本テレビ	①2.6	①4.6	①4.3	①2.2
テレビ朝日	④1.4	④2.5	④2.6	④1.1
テレビ東京	⑥0.5	⑥1.5	⑥1.3	⑥0.3
フジテレビ	③1.6	③2.9	③2.8	②1.3
N H K	⑤0.9	⑤1.9	⑤1.7	⑤0.7
PUT	10.2[▲0.4]	18.9 [▲0.7]	17.8[▲0.8]	8.0 [▲0.4]

(2025/3/31～2025/12/28：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)

個人全体視聴率 (ALL)

TBS

(※ []内は前年差 単位: %)

	全 日	ゴールデン	プライム	ノンプライム
TBS	④2.7 [▲0.1]	④4.5 [+0.1]	③4.3 [+0.1]	④2.3 [▲0.1]
日本テレビ	②3.3	①5.1	②4.7	②2.8
テレビ朝日	①3.4	①5.1	①5.1	①2.9
テレビ東京	⑥1.1	⑥2.8	⑥2.4	⑥0.7
フジテレビ	⑤2.1	⑤3.4	⑤3.3	⑤1.7
N H K	③2.8	③4.8	④4.1	③2.4
PUT	18.1[▲0.5]	29.8 [▲0.8]	27.7[▲0.8]	15.4 [▲0.4]

(2025/3/31～2025/12/28：週ベース)

(ビデオリサーチ調べ：関東地区)



※2023年3月末まではGYAO!を含む

タイム・スポット収入対前年比

TBS

単位：
百万円

	タイム			スポット				備考
	2025年度	前年差	増減率	2025年度	前年差	増減率	地区投下 (推計)	
4月	7,355	+465	+6.8%	7,521	+421	+5.9%	▲11.0%	タイムは、レギュラーセールス好調。
5月	6,566	+157	+2.5%	7,545	+1,194	+18.8%	▲1.5%	
6月	6,391	▲597	▲8.5%	7,283	+1,221	+20.2%	▲0.7%	タイムは、「バレーボールネーションズリーグ」の反動（2025年度は7月放送）。
7月	7,151	+712	+11.1%	7,534	+961	+14.6%	+6.2%	タイムは、「バレーボールネーションズリーグ」で增收（2024年度は6月放送）。
8月	6,581	▲638	▲8.8%	6,410	+1,071	+20.1%	+12.7%	タイムは、「パリ五輪」の反動減、スポットは反動増。
9月	12,040	+5,984	+98.8%	5,015	▲1,375	▲21.5%	+0.2%	タイムは、「東京2025世界陸上」で大幅增收。
10月	6,906	+244	+3.7%	7,609	+179	+2.4%	▲3.4%	
11月	7,207	▲426	▲5.6%	7,874	+215	+2.8%	+0.3%	タイムは、「世界野球プレミア12」の反動減。
12月	7,479	+57	+0.8%	8,340	+627	+8.1%	+3.9%	
1月								
2月								
3月								
1Q	20,313	+25	+0.1%	22,350	+2,837	+14.5%	▲4.7%	
2Q	25,773	+6,059	+30.7%	18,960	+657	+3.6%	+6.0%	
3Q	21,593	▲124	▲0.6%	23,824	+1,021	+4.5%	+0.3%	
4Q								
通期	67,680	+5,960	+9.7%	65,135	+4,517	+7.5%	+0.4%	

スポット5局シェア（推計）四半期推移

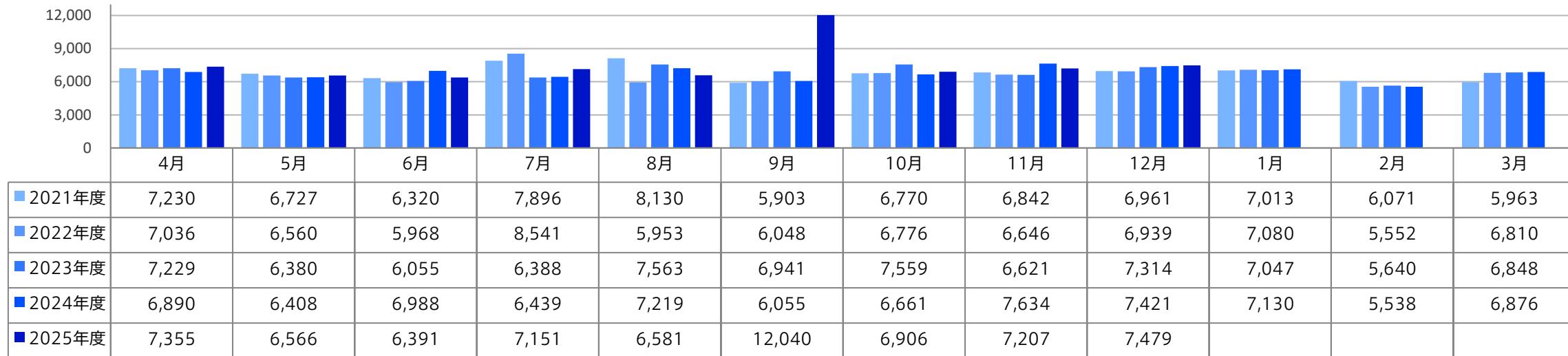
2021年度 20.1% (累計)				2022年度 20.6% (累計)				2023年度 20.5% (累計)				2024年度 21.5% (累計)				2025年度 22.5% (累計)			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q												
20.4	20.3	19.7	20.0	21.2	20.6	20.9	19.6	20.9	20.6	20.2	20.1	20.8	21.4	20.9	23.2	25.0	20.9	21.7	

タイム・スポット収入 経年推移

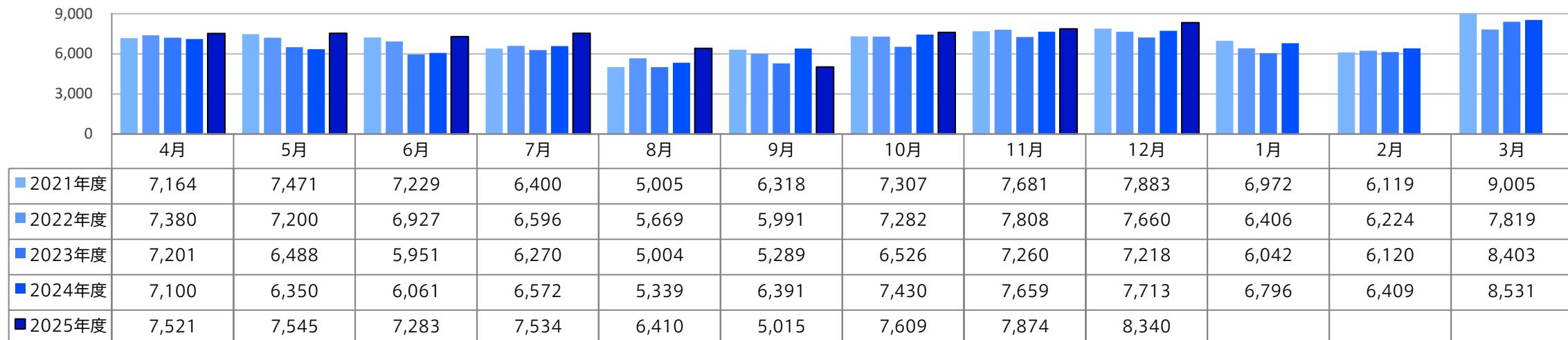
TBS

タイム収入

単位：百万円



スポット収入



業種別スポット売上順位

TBS

2024年度 3Q (4-12月)		増減率	シェア
1	情報・通信・放送	▲3.0	15.3
2	酒・飲料	▲2.6	10.7
3	食品	+8.6	9.5
4	外食・サービス	+8.0	8.2
5	医薬品	▲4.7	7.0
6	化粧品・トイレタリー	+23.6	6.5
7	交通・レジャー	+9.4	6.1
8	金融	+9.7	5.0
9	自動車・輸送機器	+45.3	4.8
10	不動産・建設	+29.1	4.5

※ 順位は金額順

2025年度 3Q (4-12月)		増減率	シェア
1	情報・通信・放送	+6.5	15.2
2	酒・飲料	▲0.6	9.9
3	食品	+4.2	9.2
4	外食・サービス	+11.3	8.5
5	医薬品	+12.8	7.3
6	交通・レジャー	+3.6	5.8
7	化粧品・トイレタリー	▲4.6	5.8
8	金融	+13.8	5.3
9	自動車・輸送機器	+8.5	4.8
10	エンターテインメント・趣味	+12.1	4.3

※ 順位は金額順

連結会社一覧

※ 2025年12月末現在

TBS

メディア・コンテンツ/ 不動産・その他(1社)

(株) TBSテレビ

メディア・コンテンツ(17社)

(株) TBSラジオ

(株) BS-TBS

(株) TBSスパークル

(株) TBSグロウディア

(株) TBSアクト

(株) CS-TBS

(株) THE SEVEN

(株) Seven Arcs

TCエンタテインメント(株)

(株) TBSメディア総合研究所

(株) 日音

(株) マンガボックス

(株) WACUL

TOKYO BROADCASTING SYSTEM INTERNATIONAL, INC.

Bellon Entertainment Inc.

THE SEVEN US, INC.

TOKYO BROADCASTING SYSTEM KOREA, INC.

ライフスタイル(8社)

(株) スタイリングライフ・ホールディングス

(株) CPコスメティクス

(株) ビコーズ

(株) やる気スイッチグループホールディングス

(株) やる気スイッチグループ

(株) やる気スイッチキャリア

(株) YPスイッチ

(株) 寺小屋グループ

不動産・その他(5社)

赤坂熱供給(株)

(株) TBS企画

(株) TBSサンワーク

(株) TBSヘクサ

(株) 緑山スタジオ・シティ

持分法適用(7社)

(株) リトプラ

(株) WOWOW

(株) Amazing Sports Lab Japan

(株) YGC

(株) U-NEXT

台灣拓人教育事業股份有限公司

(株) サンリオやる気エデュテイリング